

「ついで見回り・通報」取組 上伊那猟友会・宮下建設株式会社に林野庁長官感謝状

【南信森林管理署】6月4日、南信森林管理署、上伊那猟友会、宮下建設(株)の三者が取組んだ「ついで見回り・通報」の成果に対して、林野庁長官から「国民の森林づくり推進功労者」として感謝状が交付され、伝達表彰式が行われました。

「ついで見回り・通報」とは、国有林内で効率的にニホンジカを捕獲するため、工事現場までの林道沿線及び工事現場周辺に上伊那猟友会が「くくりワナ」を仕掛け、現場作業地に通勤する宮下建設(株)の社員からニホンジカがワナに掛かっていた場合、猟友会へ連絡して速やかに捕獲する取組で、昨年8月30日から11月3日までの66日間で、南信森林管理署から貸し出したくくりワナ125個を設置し158頭ものニホンジカを効率的に捕獲することができました。

上伊那猟友会長からは「ほぼ毎日連絡を受けて効率よく捕獲できた。捕獲頭数は予想をはるかに上回った。また、空振りが無いので猟友会員の負担軽減につながった。大変光栄な賞状をいただき感謝申し上げます」また、宮下建設(株)の代表取締役からは「社員の業務負担にならない中で協力をさせていただいた。正直、予想以上の捕獲頭数に驚いた。少しでもニホンジカが減少し森林環境が向上すればありがたい。今後とも協力していきたい」とお礼の挨拶がありました。

今年度も三者の基本合意に基づき、くくりワナによるニホンジカの捕獲に取り組んでいきます。



林野庁長官感謝状を報道に披露する

ニホンジカ食害対策展示エリアを設置

【森林技術・支援センター】ニホンジカによる食害対策について産学官が連携し、「現地検討会」を開催していますが、現地までの移動時間がかかることや、多人数の場合は検討箇所での説明箇所の確保等に苦慮していたことから、6月13日に既設の囲いワナの設置箇所を改良し、植栽木に直接施工する「単木対策エリア」と、林縁部に網を設置する「面的対策エリア」及び「くくりワナ講習用エリア」を設け、それぞれ数種類の規格、手法の違う商品を設置、展示する予定です。



披露囲いワナの設置

面的エリアでは、捕獲を目的とした「囲いワナ」に加え、防除のための柵も展示し、従来からの化学繊維による網の外に金網による柵も展示する予定です。

また、ネットの張り方についても低コストの視点で、様々な張り方などを展示するため、11月に計画している検討会の開催に向けて準備を進めています。

今後も岐阜大学など外部有識者や関連する企業とも連携して、ニホンジカ対策の成果の見える化に取り組んでいきます。